



尾瀬での自然保護活動

東京電力グループは、様々な自然保護活動を行っています。多くの自然保護活動は、尾瀬の生物多様性を守ることにつながっています。

木道の整備



尾瀬国立公園内の木道約20kmを敷設し、維持管理しています。

生物多様性に配慮した高架式木道



野生動物との接触を避けるため、木道の下を動物が通行できるように、木道の一部を高架式にしています。

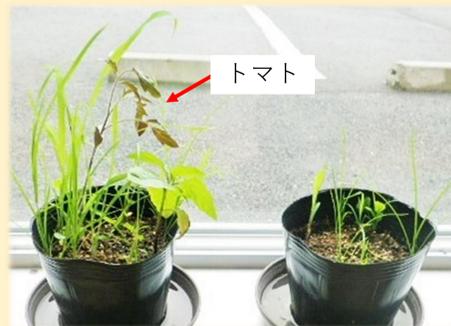
種子落としマットの設置



群馬県側の入山口3ヵ所（合計7つ）に設置しています。

種子落としマットの効果

靴には土と共に多くの植物の種が付着しています。下の写真は、マットの下から採取した土より発芽した植物です。雑草だけでなく野菜のトマトも発芽しました。



外来の植物は、尾瀬の貴重な植物にとって生育地の縮小や雑種を産み出す遺伝子汚染などの脅威となります。

浄化槽完備の公衆トイレの設置



公衆トイレや山小屋には浄化槽を設置しています。河川の魚類や水生昆虫などの生物多様性に影響のない水質に浄化し、排水しています。

太陽光発電設備の設置



山小屋や公衆トイレで使用する電気は、ディーゼル発電でまかなわれています。太陽光発電設備を導入することで環境負荷を軽減し、生物多様性への影響を軽減しています。